

平成16年3月期 第1四半期業績の概況 (連結)

平成15年8月8日

上場会社名 株式会社サノヤス・ヒシノ明昌

(コード番号: 7020 大証第1部)

(URL <http://www.sanoyas.co.jp>)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 木村進一
責任者役職 常務取締役 森本武彦

TEL (06) 4803-6171

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

- * 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- * 公認会計士又は監査法人の監査は受けておりません。

(1) 売上高

	百万円
16年3月期第1四半期	12,445
(参考) 15年3月期	53,266

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

事業の種類別売上高

	船舶 百万円	陸上 百万円	合計 百万円
16年3月期第1四半期	7,682	4,763	12,445
(参考) 15年3月期	25,573	27,693	53,266

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、金融不安の軽減や後半の株式市況の持ち直しによる景況感改善の兆しなど明るさは出て来たものの、個人消費の低迷持続もあり、依然として厳しい環境が続いております。

当第1四半期の売上高は、船舶部門においては、新造船でアフラマックスタンカー1隻とパナマックスバルクキャリアー1隻の引渡しを行い7,682百万円となりました。アフラマックスタンカーは10年振りの建造でありましたが、順調に予定の工程を成しとげました。又、期中に於いて円高が進行しましたが適切な為替予約により予定相場を確保することが出来ました。

陸上部門は受注産業の性格から期末に売上高の計上が集中する傾向がありますが、当第1四半期の売上高は概ね予定通りの進捗で4,763百万円となりました。この結果売上高合計は12,445百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

当期の見通しは、下記の前回予想(平成15年5月23日発表)通りに推移する予定であり、変更はありません。

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 予想当期純利益 円 銭
中間期	26,900	700	300	9 73
通期	59,000	1,200	600	20 22

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上